

相模原市のご紹介

相模原市は、首都圏南西部、神奈川県北部に位置する政令指定都市です。

人口は約72万人、首都圏中心部から50km圏内にあり、6つの鉄道路線や圏央道、中央自動車道が通る利便性の高さを誇りながら、丹沢山系をはじめ、相模川や湖などの心癒される豊かな自然に恵まれた「都市と自然がベストミックスした街」です。2020年には、発展を続ける都市部と雄大な自然との調和や共生社会の推進など、高いポテンシャルが評価され、「SDGs 未来都市」に選ばれました。



JAXA相模原キャンパス



相模原市には、宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所（JAXA相模原キャンパス）があり、全国のJAXAの施設が所在する自治体間交流の枠組みである銀河連邦*などを通じて、30年以上にわたり宇宙に関連する事業を実施しています。

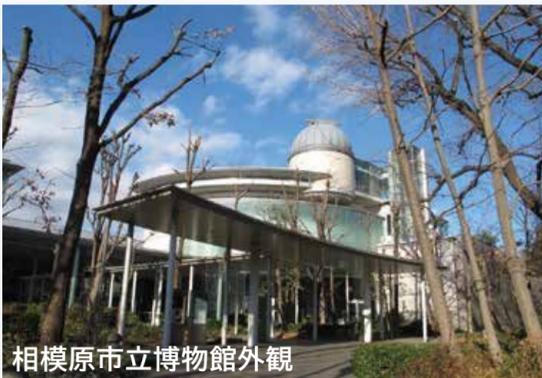
近年では「宇宙を身近に感じられるまち さがみはら」として積極的なシティプロモーションに取り組んでおり、その一環として、JAXAとの連携による様々なイベントや学習機会の提供を行っています。また、少子化が進む中で子育て世代に選ばれ、安心して子育てができるまちを目指し、プラネタリウム観覧料の市内の子ども無料化による、教育環境の充実や居場所の提供に取り組んでいます。

*銀河連邦は、宇宙開発の最先端技術を研究している宇宙航空研究開発機構（JAXA）の研究施設が縁で交流を始めた5市2町が、子どもたちの留学交流事業を始め、スポーツ交流や経済交流、銀河連邦フォーラムの開催などを通じて友好を深め、相互の発展と宇宙への夢とロマンを育むことを目的としています。

相模原市立博物館について

相模原市立博物館は、郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、いきいきとした市民文化の創造に寄与することを目的として、1995年11月に設置された総合博物館です。

年間約13万人の利用者を誇り、近年では市民団体による活動も盛んに行われるなど、多くの方々に親しまれています。



相模原市立博物館外観

企業版ふるさと納税とは

相模原市が行う地方創生に関する事業に対して企業等が寄附を行った場合に、寄附額の最大約9割を当該企業等の法人関係税から税額控除する制度です。

企業版ふるさと納税として寄附を頂けた場合、従来の損金算入による軽減効果（寄附額の3割）と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。

寄附額の最大約9割の軽減効果を活用しながら、企業の地域貢献のPR効果が期待できます！



- ◆法人住民税：寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限）
- ◆法人税：法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）
- ◆法人事業税：寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

手順の流れ

- 1 寄附のお申し出**
 - 企業等 寄附の対象事業や寄附金額を決めていただきます。まずは、お気軽に下記までお問合せください。対象事業等が決定しましたら、寄附申出書をご提出いただけます。
- 2 寄附の払込み**
 - 相模原市 寄附申出書をご提出いただきましたら、市から納付書を発行いたします。
 - 企業等 指定金融機関で寄附の払い込みをお願いいたします。
- 3 企業等のご貢献をPR**
 - 相模原市 市ホームページ等で企業名称等について公表させていただくなど、積極的にPRいたします
- 4 税申告のお手続き**
 - 相模原市 寄附金の納付が確認できましたら、受領証を発行いたします。
 - 企業等 受領証を使用し、税務署での税申告のお手続きをお願いします。

- 寄附にあたっての留意事項
- 相模原市に本社（地方税法上の「主たる事務所又は事務所」）が所在する企業は対象外です。
 - 1回当たり10万円以上の寄附が対象です。
 - 寄附の代償として経済的な利益の供与は禁止されています。

相模原市 市長公室 政策部 政策課

〒252-5277 神奈川県相模原市中央区中央2-11-15

☎042-769-8203

✉seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

相模原 企業版ふるさと納税 検索



相模原市立博物館
宇宙教育推進プロジェクト
～企業版ふるさと納税のご案内～

相模原市立博物館 宇宙教育推進プロジェクト



相模原市立博物館は、JAXA宇宙科学研究所の向かいにあり、両者が連携して、相模原市ならではの特色ある宇宙教育を推進しています。その取組の一部と寄附対象事業についてご紹介します。

project 1 施設の特徴を活かした事業の実施

相模原市立博物館は、天文展示室や講演会・体験教室などの会場となる空間のほか、県内最大級のプラネタリウム、大型望遠鏡を備えた天体観測室など、宇宙に関する学びを提供する設備が充実しています。

これらを活用した宇宙教育事業等を開催することで、日常生活で意識することの少ない宇宙を身近に感じてもらい、宇宙への興味や憧れを抱ききっかけづくりを行っています。

特にプラネタリウムは、市内全公立小学校4年生等の学習利用をはじめ、年間約5万人の利用者を誇り、宇宙に関する取組を推進する相模原市の中核的な施設となっています。

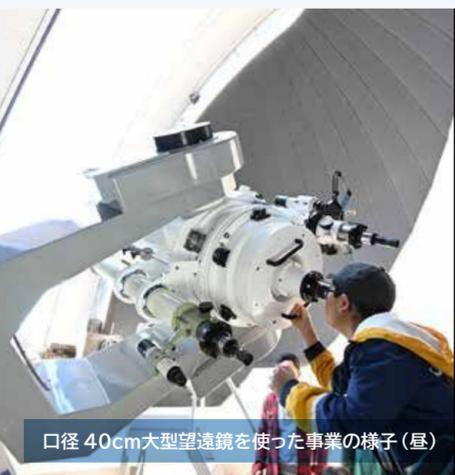
またプラネタリウムを学習投影や一般の投影以外に、コンサートや講演会、パブリックビューイング事業など、多目的に活用することで、より宇宙を身近に感じられる機会を提供しています。



プラネタリウムコンサート開催時の様子



天文展示室内の様子



口径40cm大型望遠鏡を使って撮影した月面(上)と土星(下)



口径40cm大型望遠鏡を使った事業の様子(昼)



太陽表面の様子を安全に観察できる太陽望遠鏡

project 2 JAXA宇宙科学研究所との連携



小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開時の様子

相模原市立博物館では、小惑星探査機「はやぶさ」や、その後継機である「はやぶさ2」の地球帰還カプセルの世界初公開展示をはじめ、JAXAと連携し、企画展を定期開催しています。また、JAXAの展示施設である宇宙科学探査交流棟には常設の博物館紹介展示があるほか、スタンプラリーを相互に設置するなど、両施設を見学することで、より学びを深めることができる工夫を行い、日常的に連携を深めています。



またJAXA相模原キャンパス特別公開では、博物館も会場の一部として、様々なイベントを開催しているほか、各種講演会、体験教室といった事業についてもJAXAと連携し、両者が一丸となって宇宙に関する学びの場を提供しています。

近年では、相模原市立博物館で開催するイベントのインターネット配信や他の科学館とリアルタイムでやり取りを行うイベントなど、JAXAによる宇宙科学探査・観測の成果等を全国に発信する役割も担っています。



エントランスに設置した小惑星探査機「はやぶさ2」実物大模型



JAXA宇宙科学研究所の研究者を講師に招いた講演会の様子

相模原市立博物館は、JAXAに隣接し、高性能な天体望遠鏡やプラネタリウムなどを備え、宇宙に興味や憧れを抱ききっかけづくりから、世界最先端の研究に触れることができる恵まれた環境が整っています。これらを最大限に生かした宇宙教育事業等を推進することで、宇宙科学・宇宙産業の発展が期待される現代社会において、子どもたちが夢と希望をもって成長できる教育環境の充実に取り組んでいます。

project 3 プラネタリウム施設の大規模改修



改修後の場内イメージ

©GOTO

相模原市立博物館プラネタリウムは、平成7年の開館時に設置されて以降、大規模な改修を行っていませんでしたが、施設の魅力向上を図り、宇宙教育事業を更に発展させるため、令和6年度から7年度にかけて、投影機のほか、ドームスクリーンや座席等を含む全面的なリニューアル工事を実施します。

投影機の一斉による学習効果の向上やイベント機能の充実だけでなく、より快適な空間に生まれ変わることで、宇宙への興味や憧れを育む教育環境の更なる充実を目指します。

※令和7年7月中旬リニューアルオープン予定



現在のプラネタリウムドーム内の様子

主な改修内容

- ・10億個の星を映し出す光学式投影機
- ・8K映像を映し出す全天周デジタル投影機器
- ・投影機からの映像を映し出すドームスクリーン
- ・座席や床面カーペット等内装の改修
- ・多目的ルームの設置*
- ・イベント利用を想定した、投影システムの内蔵、高感度カメラや照明設備、音響設備の設置

※多目的ルーム：小さなお子さまや声が出てしまう障害がある方なども安心してプラネタリウムを観覧できる空間

受託事業者 株式会社五藤光学研究所(契約金額：499,999,500円)

相模原市では、このプラネタリウムリニューアル事業を、教育・子育て環境の充実に伴う**少子化対策事業の一環**として、リニューアル経費の一部を、寄附対象事業とすることといたしました。

豊富な宇宙に関する教育設備や、世界最先端の研究施設であるJAXA宇宙科学研究所との連携により、これまで数多くの事業を実施し、宇宙への興味や憧れを育ててきた相模原市立博物館による宇宙教育のさらなる発展に、ご賛同いただける企業様からの寄付をお待ちしております。